

私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会
2021年度秋季京都地区協議会（第159回）議事要録

開催日 : 2021年10月15日（金）～10月22日（金）17:00
開催場所 : メール会議
出席校 : 加盟館全館（41館）
欠席校 : なし
司会 : メール会議形式につき、なし

1. 開会挨拶

なし

2. 議長選出

なし

3. 議題

（1）報告事項

① 私立大学図書館協会会務報告

資料「2021年度第1回東西合同役員会」のとおり報告がなされた。

② 西地区部会会務報告

資料「2021年度第1回西地区部会役員会資料」のとおり報告がなされた。

③ 2021年度京都地区協議会会務・理事校業務報告

資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」の
p. 1～p. 2のとおり報告がなされた。

④ 京都地区協議会相互協力委員会報告

資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」の
p. 3のとおり報告がなされた。

⑤ 京都地区協議会研究会検討委員会報告

資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」の
p. 4のとおり報告がなされた。

⑥ 京都地区協議会ホームページ運用報告

資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」の
p. 5のとおり報告がなされた。

⑦ 大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会報告

資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」の
p. 6～p. 9のとおり報告がなされた。

(2) 協議事項

- ① 2022年度京都地区協議会京都地区協議会相互協力委員校の選出について
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 10のとおり提案され、承認する41校、承認しない0校により、原案どおり承認された。
- ② 2022年度京都地区協議会研究会検討委員会委員校の選出について
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 11のとおり提案され、承認する41校、承認しない0校により、原案どおり承認された。
- ③ 2022年度京都地区協議会ホームページ管理運用体制について
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 12のとおり提案され、承認する41校、承認しない0校により、原案どおり承認された。
- ④ 京都地区協議会内の活動のスリム化について
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 13～p. 14のとおり提案され、承認する40校、承認しない1校により、原案どおり承認された。また、本件への意見・質問は6件提出され、協議会理事校から各館へ以下のとおり回答した。

.....

【同志社大学図書館】

研究会の開催回数について、アンケート結果では「不定期開催」「開催せず」の回答も多かったと存じますが「年1回程度」とされた理由をお示しいただけますでしょうか。「不定期開催」「開催せず」のと回答を考慮して「程度」を付加されたのかも知れませんが、今回のご提案は開催が必須のような印象です。

なお、協議会の開催回数については、異論はございません。

(回答)

研究会の開催回数について、「年1回程度」としました理由としましては、以下の通りです。まず、研究会の開催回数について、アンケート結果は以下のようになっております。（※春季京都地区協議会（第158回）の配布資料P. 23参照）

年1回：14館 不定期開催：11館 開催せず：5館 年2回：9館 その他：2館

この結果から、本学では「年1回以下での開催を希望する」加盟館が多数であると認識しております。また、研究会の開催については、基本的に、研究会検討委員会で検討・判断していただければよいと考えておりますが、研究会検討委員会での検討の結果、現在年2回開催している研究会の開催回数が削減されず、年2回以上となることは、「活動のスリム化」の実現のため、避けたいと考えております。そうなりますと、年間（年度内）の開催回数は、0回か1回となり、最大でも

1回ということで、会則の記載は、「年1回程度」とさせていただきます。
貴学より、「開催が必須のような印象」を受けたとのご意見をいただきましたが、上記のような理由から、「必須である」とは考えておりません。
説明不足で申し訳ございませんでした。

【花園大学情報センター（図書館）】

協議事項の審議・承認から実行までに時間がかかり過ぎではないか。
迅速な対応を希望します。

(回答)

活動のスリム化について、協議会・研究会の開催回数を単純に削減するだけで良いのであれば、簡単に実行できると思います。ただ、協議会・研究会の開催回数は、会則で規定されておりますので、開催回数を変更するには、会則の改訂も必要になります。また、協議会・研究会の当番校は、輪番制で決められており、開催回数が増えれば、輪番制もずれていくことになります。輪番制がずれること及び研究会の開催回数が増えることで、研究会検討委員会の構成にも変更が生じます。協議会・研究会の開催回数が削減されれば、経費についても当然削減しなければなりません。以上のようなことについて、理事校が案を作成し、運営委員会の検討・承認を経て、協議会で全加盟館で協議・承認を得る、という手続きが必要です。役員校へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【北陸大学図書館】

活動のスリム化について、承認いたします。どうしても年一回の開催で足りない場合は、オンラインやメール会議等、負担のかからない範囲で臨時開催する方法を取り入れていってもよいと思います。

(回答)

活動のスリム化について承認いただき、ありがとうございます。

まず、京都地区協議会が公式に開催する研究会については、会則の改定案の「年1回程度」を遵守していただきたいと思います。その上で、各加盟館の皆様が、どうしても年一回の開催では足りない」と思われ、研究会を開催したい場合は、非公式（有志グループ等）で開催していただければよいのではないかと思います。年2回以上の研究会開催を、京都地区協議会の公式開催で実施するのであれば、今回の活動のスリム化の承認と相反することになると思いますので、ご理解・ご了承いただければと思います。

【京都外国語大学附属図書館】

各大学の状況や意向を鑑みれば今回の案は妥当かと思えます。ただ、やはり今後

活動の縮小が進み、協議会そのものの存在意義がより問われるのではないかと感じます。

また、対面実施から今後Web会議もしくはメールが中心となっていくことも理解できますが、今回のような協議会の在り方そのものに関わるような大きな議題の決議については、やはり対面かオンラインで議決を取るほうがいいのではないかと感じています。

(回答)

今後、京都地区協議会の存在意義がより問われるというのは、まさにその通りだと思います。ただ、個人的には、京都地区協議会を、従来のまま維持していくことにこだわらず、活動のスリム化によって、加盟館の皆様が協会業務に大きな負担を感じることなく、メール会議やオンライン会議の導入で、遠隔地や繁忙時期であっても協議会や研究会に参加しやすくなるなど、新たな開催形式や交流の方法で、京都地区協議会を継続できれば良いと考えております。

また、協議会の開催方法については、対面・オンライン・メールとも、それぞれの長所・短所があると思いますが、例えば、対面とオンライン、オンラインとメールを組み合わせての開催とすることなども考えられると思います。

2020年度以降の協議会の開催方法は、メール会議が中心となっておりますが、各大学における新型コロナウイルス感染症対策事情もあることから、2021年度については、原則、当番校の学内事情・決断を尊重しております。参考までに、2020年度以降の各当番校の判断理由を添付いたします。2022年度については、また社会状況も見ながら、当番校様と開催方法を検討いたします。今後とも、ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

以下、添付内容：当番校の開催方式の判断理由

2020年度 春季協議会（当番校：天理大学様）

緊急事態宣言の発出により、参集型が中止となり、急遽、メール会議へ切り替えて開催されました。

2020年度 秋季協議会（当番校：帝塚山大学様）

緊急事態宣言解除中でしたので、対面で開催されました。

会場は、キャンパスプラザ京都でした。

2021年度 春季協議会（当番校：富山国際大学様）

- ・緊急事態宣言下ではなかったものの、まだコロナ感染の不安が大きい
- ・自校開催の場合、遠方のため、参加館が県をまたいでの移動が難しい
- ・近畿圏の会場を借りる場合、手続きに行くのが難しい

などの理由と、前年度のメール会議での開催の事例があったことから、メール会議での開催とされました。

2021年度 秋季協議会（当番校：びわこ成蹊スポーツ大学様）

現在のところ本協議会加盟館所在地において、緊急事態宣言は出ていないが、夏以降コロナ感染拡大の不安が大きいこと。

自校開催としてもキャンパスプラザ京都での開催としても、府県をまたいでの移動となる加盟館が多く、現状においては極力控えたほうがよいと考えられるため。

という理由で、メール会議での開催とされました。

【京都産業大学図書館】

研究会検討委員会は当年度と翌年度の当番校と委員長校の計6校で担当していただいています。単に翌年度に実施方法を引き継ぐ目的だけでなく、研修テーマについて当番校だけでなく他の委員校も含めて広く検討するという目的も持っています。当番校の減少により、そのままでは委員校も減少することになり、研究会の開催内容の検討が当番校に任せきりにならないか心配です。負担を減らすという目的には逆行しますが、研究会検討委員会の委員校削減は、最低限に抑えることはできないでしょうか。

(回答)

研究会の開催回数が2回から1回以下へ変更になり、現在の「研究会検討委員会規程」のままですと、委員校数は、6校から4校へ減少することになります。

ご質問を拝見してから、過去の議事録等を確認しましたところ、2015年度秋季協議会において、研究会検討委員会に関して、以下の資料の提案と、理事校のオブザーバー参加の廃止について報告されていました。

(※京都地区協議会ホームページに掲載)

- ・ 京都地区協議会研究会の開催についてのガイドライン
- ・ 京都地区協議会研究会検討委員会の設立にいたる経緯

これらの経緯の上で、現在の研究会検討委員会が成立しており、ご指摘のように、委員校数の減少により、当番校のみに任せきりになり、当番校の負担が増えれば、活動のスリム化の意味もないと思います。

現時点で思いつく対策案としては、

- ・ 理事校のオブザーバー参加を復活させる（→委員校数5校）
- ・ 委員校を、前年度・当年度・翌年度の3年間の委員長校・当番校で構成する（→委員校数6校）

の2つですが、この件については、次回協議会で協議予定の「輪番制の見直し」の際に、改めてご提案・ご相談させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

【帝塚山大学図書館】

具体的な回数削減と会則の改定案、また今後のスケジュールもはっきりと示され、やっとスリム化が現実的になったと安心しています。役員の皆様には大変な作業となりますが、今後ともどうぞよろしくお願いします。

(回答)

前理事校の貴学にスリム化のスタートを切っていただき、本学としましては、2年間の任期中に制度を整えておきたいと思っています。今後も、ご確認と忌憚のないご意見をいただけると、大変助かります。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

.....

(3) 確認事項

- ① 2021年度京都地区協議会加盟大学図書館
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 15のとおり確認がなされた。
- ② 京都地区協議会理事校等選出基準（2019年度～2028年度）
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 16のとおり確認がなされた。
- ③ 「理事校等選出基準規程」による部会長校等該当校（2019年度～2028年度）
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 17のとおり確認がなされた。
- ④ 京都地区協議会役員校・当番校等一覧（2019年度～2022年度）
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 18のとおり確認がなされた。
- ⑤ 京都地区協議会グループ編成表・研究会担当校一覧（2021年度）
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 19のとおり確認がなされた。
- ⑥ 大学図書館近畿イニシアティブ連絡会委員校一覧（2017年度～2027年度）
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 20のとおり確認がなされた。
- ⑦ 私立大学図書館協会・西地区部会・京都地区協議会当番校等一覧（2021年度）
資料「西地区部会京都地区協議会2021年度秋季京都地区協議会（第159回）」のp. 21～22のとおり確認がなされた。
また、本件への意見・質問は1件提出され、協議会理事校から以下のとおり回答した。

.....

【同志社大学図書館】

P. 21-22の当番校一覧2024年度および2025年度の京都枠について、輪番で決まっているのであれば、お示しいただきたい。

(回答)

2024年度・2025年の京都枠については、現時点では決定しておりません。
 部会長校該当校の2002年以降の担当表を確認しましたところ、輪番というルールで運用されているのか、不明でしたので、一度、該当校の皆様でご相談いただいた方が良いのかと思っております。部会長校該当校の担当表を添付ファイルでお送りしますので、ご確認ください。部会長校該当校の皆様には、本学より、別途、ご連絡させていただきます。ただ、西地区部会では、現在、活動のスリム化が進められており、現在の予定では、2022年6月の西地区部会総会で、新たな輪番制が提示され、承認、運用へと進む予定になっております。つきましては、2023年度以降の担当が変更となる可能性が高いので、ご承知おきいただければと思います。西地区部会の活動のスリム化のスケジュールについては、配布資料「第1回西地区部会役員会資料」P. 52をご確認ください。

以下、添付内容：部会長校該当校の担当表

部会長校該当校担当表

	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
佛教大学	西幹事							総大会									
同志社大学	西総会							西部会長									
金沢工業大学											西総会						
京都産業大学								西研究会									
立命館大学						西総会					会長校	会長校	西幹事	西幹事			
龍谷大学				会長校	会長校	西幹事	西幹事										総大会
帝塚山大学																	西総会

該当校以外での担当

大谷大学			西研究会										西研究会				
------	--	--	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	--	--	--	--

H25年での該当校

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
佛教大学	西部会長	西部会長	西幹事	西幹事						
同志社大学	西研究会									
同志社女子大学				西総会						
金沢工業大学										
京都女子大学										
京都産業大学										
立命館大学										
龍谷大学										

京都地区担当予定						西研究会	総大会		西総会	
----------	--	--	--	--	--	------	-----	--	-----	--

.....

(4) その他

なし

4. 閉会挨拶

なし

以上